

2026年9月期第3四半期決算

1 2026年9月期第3四半期決算

2 2026年9月期業績予想

3 トピックス

4 Appendix

2026年9月期 第3四半期のまとめ

- 連結増収増益： TTC好調によりITS減益を打ち返し、増収増益
- TTC増収増益： 官公庁を中心に官民ともに堅調を維持、増収増益・受注も好調
- ITS増収減益： 増収の一方、不採算案件の追加損失及び大型案件はく落影響打ち返せず減益
- セグメント別予想修正： 連結業績予想据え置き、セグメント別予想を修正(⇒P22)

	実績	前年同期比
売上高	982億円	+66億円
	● シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC):旺盛な需要のもと官公庁中心に民間向けも堅調持続し増収 ● ITサービス(ITS):文教・人材関連のサービス事業、一般産業向け伸長で微増	
経常利益	86億円	+4億円
	● TTC:増収効果の一方で経費微増にとどまり、増益 ● ITS:金融大型案件の減少に対して、金融等新規領域開拓が想定ほど伸びなかったことに加え、不採算案件の受注損失引当金を追加計上し減益	
純利益	68億円	+18億円
	● 投資有価証券売却益の計上	

2026年9月期 第3四半期連結決算

【百万円】

	2025年9月期 3Q	2026年9月期 3Q	増減額	増減率
売上高	91,623	98,232	+6,609	+7.2%
売上総利益	21,979	23,050	+1,070	+4.9%
売上総利益率	24.0%	23.5%	△0.5P	
販売費及び一般管理費	15,346	15,453	+107	+0.7%
営業利益	6,633	7,596	+963	+14.5%
営業利益率	7.2%	7.7%	+0.5P	
経常利益	8,254	8,695	+440	+5.3%
経常利益率	9.0%	8.9%	△0.1P	
親会社株主に帰属する当期純利益	4,987	6,880	+1,893	+38.0%
1株当たり四半期純利益(円)	316.73	436.72	+119.99	+37.9%

シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)

【百万円】

	2025年9月期 3Q	2026年9月期 3Q	増減額	増減率
売上高	36,751	42,564	+5,812	+15.8%
営業利益	4,273	6,688	+2,415	+56.5%
営業利益率	11.6%	15.7%	+4.1P	
経常利益	5,569	7,529	+1,959	+35.2%
受注高	44,283	53,011	+8,728	+19.7%
受注残高	33,333	40,665	+7,331	+22.0%

主なポイント

- 官公庁のレベル4自動運転関連やデジタル化関連案件、民間企業向けのエネルギー、経営計画策定支援、人工衛星関連業務等の案件等が貢献
- 人件費増等を打ち返し大幅増益
- 引き続き需要旺盛、受注・受注残高ともに官公庁中心(情報通信、デジタル化関連など)に順調に積み上がり(MRIでは、政府の戦略分野に沿った受注が好調⇒P18・19)

ITサービス(ITS)

【百万円】

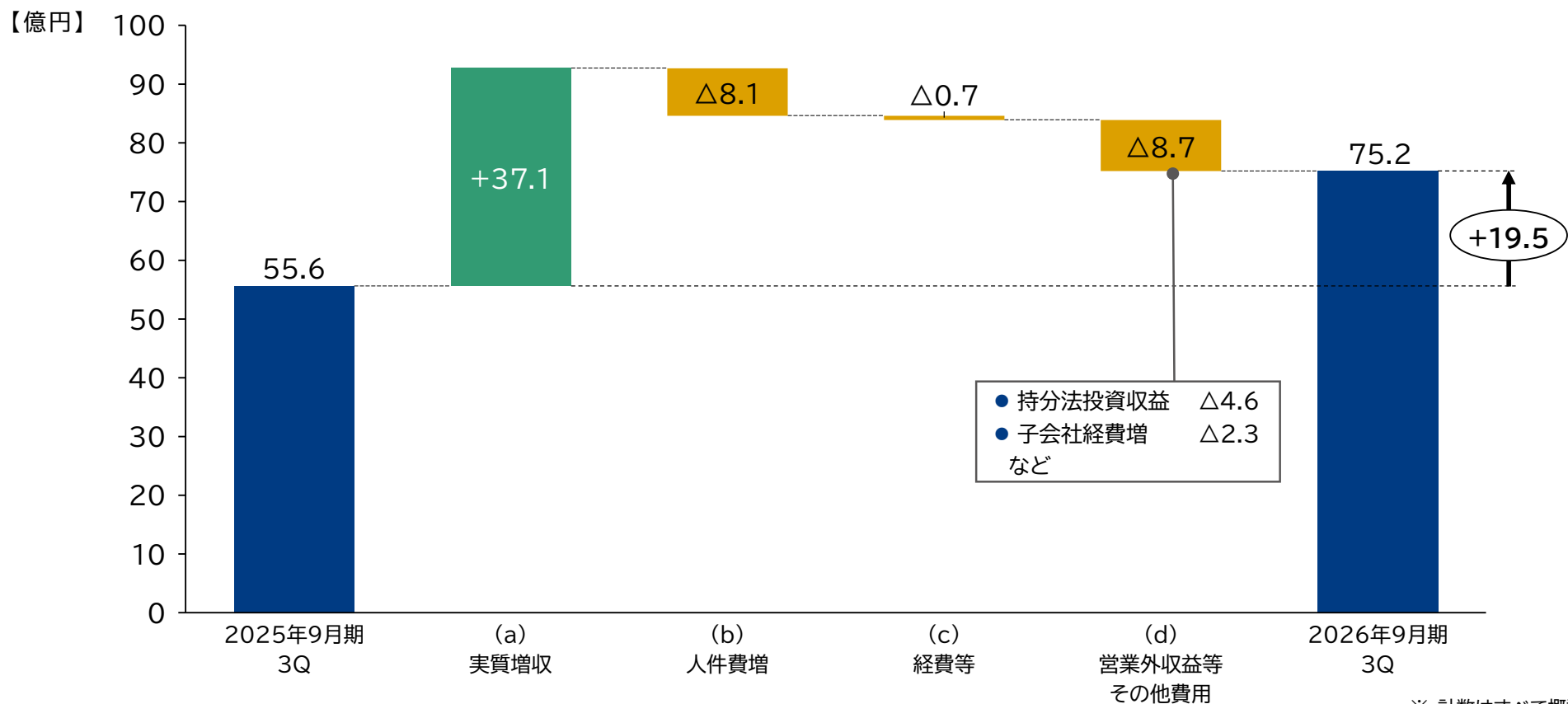
	2025年9月期 3Q	2026年9月期 3Q	増減額	増減率
売上高	54,872	55,668	+796	+1.5%
営業利益	2,377	910	△1,466	△61.7%
営業利益率	4.3%	1.6%	△2.7P	
経常利益	2,702	1,169	△1,532	△56.7%
受注高	58,714	51,996	△6,717	△11.4%
受注残高	53,447	46,642	△6,804	△12.7%

主なポイント

- 金融・カード向け大型システム関連案件の減少に対して、金融等新規領域開拓が期初想定ほどに伸びず
- 上期に発生した不採算案件において収束に向けた追加費用を計上(⇒P9)
- 受注高、受注残高ともに金融・カード分野及び一般民間企業向けが大幅減少(金融分野の大型案件の完了及び新規領域等開拓の進捗遅れ)

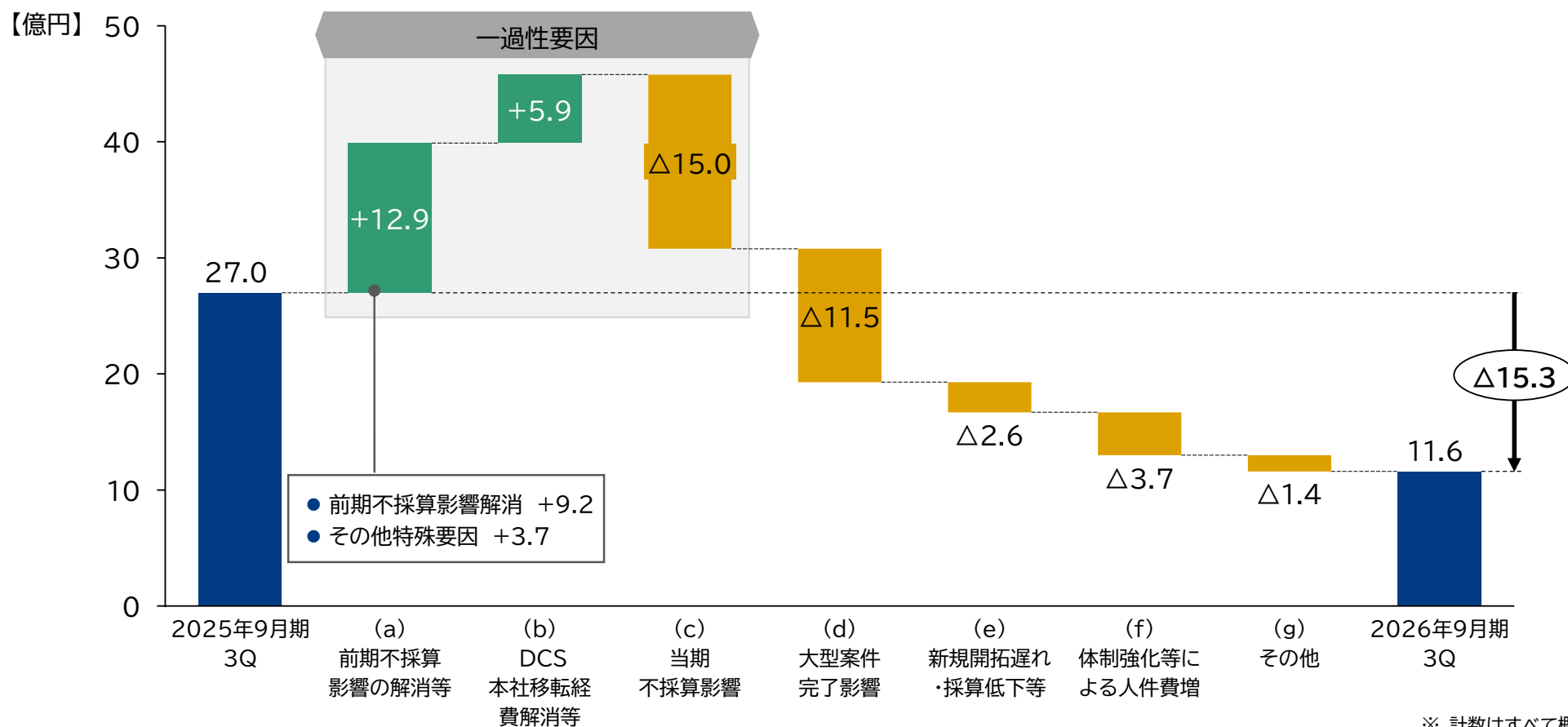
TTC経常利益の変動要因 <前年同期比>

- TTCは(a)実質増収に対し、(b)の人件費増(人員増・単価増等による)
- (c)経費は横ばいながら、持分法収益減等に伴う(d)営業外収益減・その他費用増
- 期初想定のAI投資及び研究開発費は計画通り



ITS経常利益の変動要因 <前年同期比>

- (a)～(b)の前期上期における一過性要因解消等の一方、(c)の当期不採算案件影響発生
- (d)の大型案件完了影響に加え、(e)の新規開拓遅れ・採算低下、(f)(g)の経費増
- 不採算案件において追加費用計上(⇒P9参照)



※ 計数はすべて概数

ITS不採算案件に係る追加費用計上と再発防止策

- 2Q決算で受注損失引当金を計上した大型システム開発案件において、品質確保および工程収束の確実性を高める観点から、3Q決算に追加費用を計上
- 現時点において予定リリースを阻害する重大な要因は確認されていないが、工程・品質・残課題の管理を一層強化し、追加費用の最小化に注力する
- 本事象を個別案件の収束にとどめることなく、DCSにおける大型案件管理・案件選別・PM人材供給力の強化に向けた経営課題として位置づける

追加費用の要因

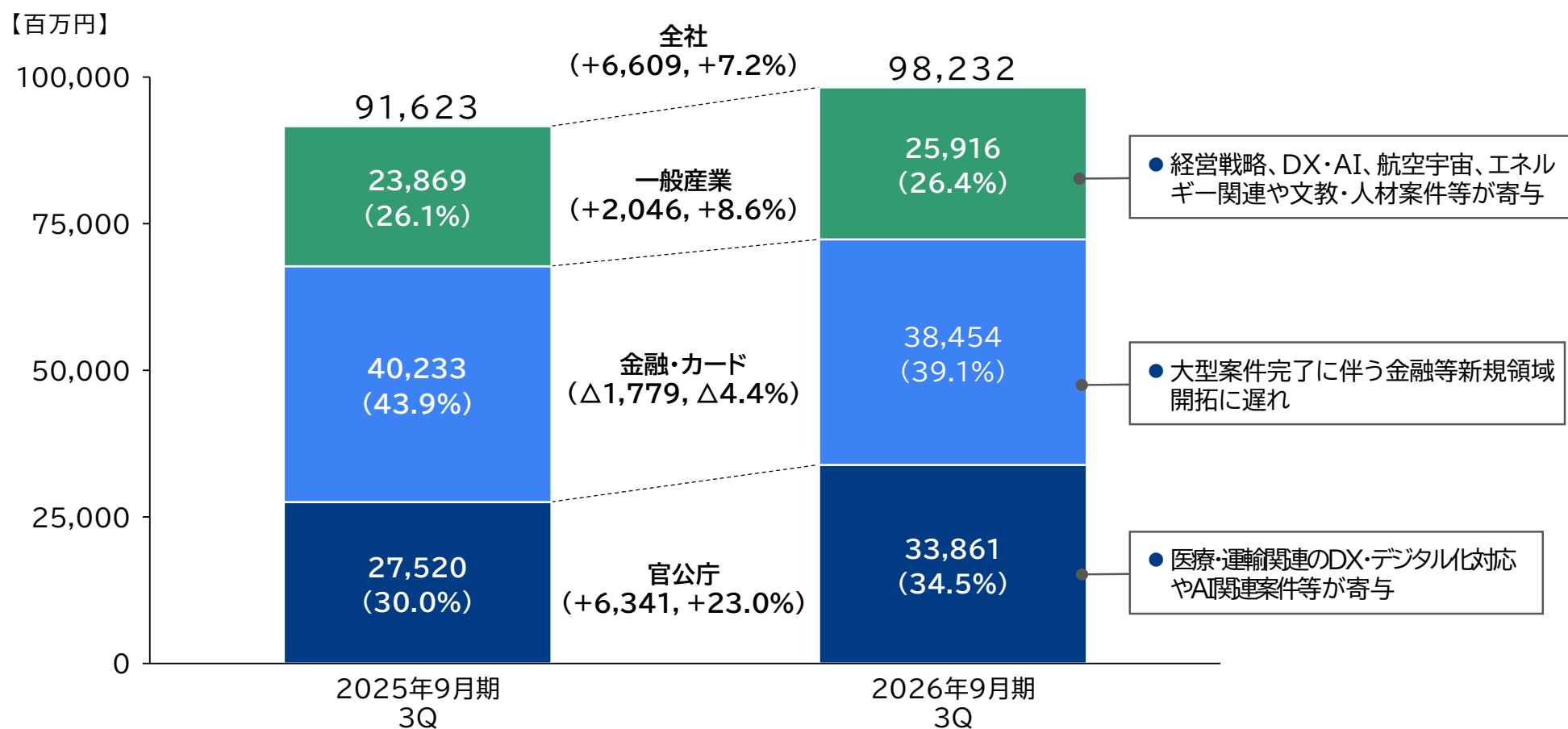
- 2Q時点では、その時点で把握可能な工程・体制・残作業を前提に受注損失引当金を計上
- その後、開発・テスト工程の進捗に伴い、残作業・品質確保・工程収束に必要な追加対応を再精査
- 予定リリースの確度を高めるため、体制増強・テスト対応費用を3Q決算に織り込み
- 本件影響は、3Q決算および業績予想に反映(⇒P22)

再発防止策

- 高リスク案件は、受注前・立上げ時・主要工程の節目ごとに、リスク・採算・体制を確認
- 工数・品質・仕様変更・採算悪化を早期検知し、あらかじめ定めた基準に基づき、経営層・プロジェクト管理専門部署で対応を判断
- 次期中計では、案件選別、採算管理、PM人材供給力を収益性安定化への重点テーマとして具体化

顧客業種別売上高 <前年同期比>

- 金融・カード分野の大型案件完了影響の一方、好調な需要を背景に官公庁・一般産業向けが伸長して全社では増収



セグメント別・顧客業種別売上高

【百万円】

		2025年9月期 3Q	2026年9月期 3Q	増減額	増減率
TTC	官公庁	26,166	30,647	+4,481	+17.1%
	金融・カード	1,977	2,635	+658	+33.3%
	一般産業	8,607	9,280	+672	+7.8%
	TTC 計	36,751	42,564	+5,812	+15.8%
ITS	官公庁	1,354	3,213	+1,859	+137.4%
	金融・カード	38,256	35,818	△2,437	△6.4%
	一般産業	15,262	16,636	+1,374	+9.0%
	ITS 計	54,872	55,668	+796	+1.5%
合計		91,623	98,232	+6,609	+7.2%

第3四半期進捗率の推移(セグメント別・売上＋受注残)

- 3Q売上＋当期売上予定の受注残高の合計の、当期売上予想に対する進捗率は98.1%
- TTC・ITSともに進捗率は前同比を上回る進捗

【百万円】

		2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
TTC	通期売上(※1)	50,462	45,419	47,090	52,500
	3Q売上実績 ＋受注残高(※2)	49,114	44,519	46,363	52,108
	3Q進捗率	97.3%	98.0%	98.5%	99.3%
ITS	通期売上(※1)	71,663	69,942	74,367	72,500
	3Q売上実績 ＋受注残高(※2)	69,749	68,459	72,154	70,544
	3Q進捗率	97.3%	97.9%	97.0%	97.3%
合計	通期売上	122,126	115,362	121,458	125,000
	3Q売上実績 ＋受注残高(※2)	118,864	112,979	118,517	122,653
	3Q進捗率	97.3%	97.9%	97.6%	98.1%

※ 1:2023年9月期～2025年9月期:実績値、2026年9月期:業績予想値(2026/7/29修正)

※ 2:3Q末時点の受注残高(当期売上予定分)

第3四半期受注残高(来期繰越)の推移

- TTCは官公庁を中心に引き続き需要旺盛、前同比73億円増
- ITSは金融・カード大型案件完了影響により、前同比43億円減

【百万円】

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期	増減額
TTC	21,288	19,773	23,721	31,120	+7,399
ITS	30,734	34,281	36,165	31,766	△4,398
合計	52,022	54,054	59,886	62,887	+3,000

※受注残高(来期繰越)は来期以降の売上計上が見込まれる案件残高、来期スタート時の発射台となる水準

(参考)第3四半期進捗率の推移(連結)

		【百万円】			
		2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
売上高	通期実績(※)	122,126	115,362	121,458	125,000
	3Q実績	96,878	90,254	91,623	98,232
	3Q進捗率	79.3%	78.2%	75.4%	78.6%
営業利益	通期実績(※)	8,688	7,060	8,010	8,400
	3Q実績	8,386	7,059	6,633	7,596
	3Q進捗率	96.5%	100.0%	82.8%	90.4%
経常利益	通期実績	10,002	8,147	9,734	9,500
	3Q実績	9,519	8,140	8,254	8,695
	3Q進捗率	95.2%	99.9%	84.8%	91.5%

※ 2023年9月期～2025年9月期:実績値、2026年9月期:業績予想値

(参考)第3四半期進捗率の推移(セグメント別)

【百万円】

			2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
TTC	売上高	通期実績(※)	50,462	45,419	47,090	52,500
		3Q実績	42,666	37,115	36,751	42,564
		3Q進捗率	84.6%	81.7%	78.0%	81.1%
	経常利益	通期実績(※)	4,428	4,237	5,715	6,900
		3Q実績	4,819	4,751	5,569	7,529
		3Q進捗率	108.8%	112.1%	97.4%	109.1%
ITS	売上高	通期実績(※)	71,663	69,942	74,367	72,500
		3Q実績	54,211	53,139	54,872	55,668
		3Q進捗率	75.6%	76.0%	73.8%	76.8%
	経常利益	通期実績(※)	5,560	3,909	4,037	2,600
		3Q実績	4,691	3,385	2,702	1,169
		3Q進捗率	84.4%	86.6%	66.9%	45.0%

※ 2023年9月期～2025年9月期:実績値、2026年9月期:業績予想値(2026/7/29修正)

(参考)事業別の進捗(MRI)

- TTCの中核を構成するMRI単体の集計値による事業別の実質の売上高※の見通し及び進捗

【単位:億円】

		2026年9月期 実質の売上高※		
		通期見通し ^{注)}	3Q実績 (前年同期比伸び率)	進捗率 ^{注)}
合計		288	238 (+16%)	83%
集中 領域	医療・介護	34	30 (+23%)	88%
	エネルギー・ サステナビリティ	51	36 (+6%)	71%
	ビジネス アナリティクス・AI	24	21 (+39%)	85%
総合 領域	公共	108	93 (+13%)	86%
	経営・DX	69	57 (+15%)	82%

注)本表における通期見通し及び進捗率は、期初計画値にもとづく

※「実質の売上高」とは:

MRIの売上高は、大型実証事業等、外部流出分の大きな案件の多寡により表面上の売上高が大きく変動するため、外部流出分を除いた金額を、「実質の売上高」と定義

※ 計数はすべて概数

(参考)事業別の進捗(ITS)

【単位:億円】

		2026年9月期 売上高		
		通期見通し(期初)	3Q実績	進捗率
合計		750	565	75%
成長	公共・電力	70	55	79%
	HR・文教	80	65	81%
	金融	180	125	69%
	DA	30	10	33%
主力	決済	80	45	56%
	ERP	20	5	25%
	産業	50	40	80%
	カード	180	155	86%
その他(子会社)		80	65	81%

※ 計数はすべて概数

政府戦略分野に関連する受注状況(MRI)

- 日本成長戦略本部における17の戦略分野(⇒P20参照)について、MRIにおける関連受注は順調に増加
- 受注全体に占める割合も、件数・受注額ともに増加
 - 件数は前同比約70件増
 - 受注額は同、約100億円増
 - 受注額・件数ともに全体として増加
- 特に「情報通信」「デジタル・サイバーセキュリティ」などの分野で増加

MRIにおける受注状況

	2025年9月期 3Q		2026年9月期 3Q		増減	
17分野に関連する 受注件数・受注額	1,270件	320億円	1,340件	420億円	+70件	+100億円
その他の 受注件数・受注額	540件	90億円	560件	80億円	+20件	△10億円
合計	1,810件	420億円	1,910件	500億円	+100件	+90億円
17分野に関連する受注の 占める割合	70%	78%	70%	83%	+0Pt	+6Pt

注) 当社(単体)が受注した案件名をもとにAI等を用いて分類・整理し、17分野に該当する案件を集計

※ 計数はすべて概数

(参考)政府戦略分野に関連する受注状況(MRI・官公庁)

- 日本成長戦略本部における17の戦略分野について、MRI(官公庁業務)における受注も順調に増加
- MRI全体と同様、特に「情報通信」「デジタル・サイバーセキュリティ」などの分野で増加

MRIにおける受注状況(官公庁)

	2025年9月期 3Q		2026年9月期 3Q		増減	
17分野に関連する 受注件数・受注額	570件	250億円	580件	330億円	+10件	+80億円
その他の 受注件数・受注額	250件	60億円	280件	50億円	+30件	△10億円
合計	810件	310億円	850件	380億円	+40件	+80億円
17分野に関連する受注の 占める割合	70%	82%	68%	87%	△2Pt	+5Pt

注)当社(単体)が受注した案件名をもとにAI等を用いて分類・整理し、17分野に該当する案件を集計

※ 計数はすべて概数

(参考)政府の戦略分野と当社の強み・実績

- 2025年11月、日本成長戦略本部により17の戦略分野が決定
- 当社は、その多くの分野に実績や強みを有する

重点投資対象17分野	
① AI・半導体	⑩ 防災・国土強靱化
② 造船	⑪ 創薬・先端医療
③ 量子	⑫ フュージョンエネルギー(核融合)
④ 合成生物学・バイオ	⑬ マテリアル(重要鉱物・部素材)
⑤ 航空・宇宙	⑭ 港湾ロジスティクス(物流)
⑥ デジタル・サイバーセキュリティ	⑮ 防衛産業
⑦ コンテンツ	⑯ 情報通信
⑧ フードテック	⑰ 海洋
⑨ 資源・エネルギー安全保障・GX	

1 2026年9月期第3四半期決算

2 2026年9月期業績予想

3 トピックス

4 Appendix

2026年9月期 連結業績予想

- セグメント別の業績を勘案し、それぞれの売上高・経常利益予想を修正（連結は据え置き）

【百万円】

	2025年 9月期 実績	2026年 9月期予想 (2026/7/29)	増減額	増減率	前回予想 (4/27)	前回予想比
売上高	121,458	125,000	+3,541	+2.9%	125,000	—
TTC	47,090	52,500	+5,409	+11.4%	51,500	+1,000
ITS	74,367	72,500	△1,867	△2.5%	73,500	△1,000
営業利益	8,010	8,400	+389	+4.9%	8,400	—
営業利益率	6.6%	6.7%	+0.1P		6.7%	
経常利益	9,734	9,500	△234	△2.4%	9,500	—
TTC	5,715	6,900	+1,184	+20.7%	5,800	+1,100
ITS	4,037	2,600	△1,437	△35.6%	3,700	△1,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,386	6,600	+213	+3.3%	6,600	—
1株当たり当期純利益(円)	405.55	418.88	+13.33	+3.3%	418.88	—
ROE	9.2%	8.9%	△0.3P		8.9%	

2026年9月期 連結業績予想について

- 連結業績予想は、2026年4月27日公表の数値から変更なし
- 足元の業績及び受注状況を踏まえ、各セグメントにおける売上高及び経常利益の予想について修正

TTC

- 官公庁向け中心に民間企業向け案件も堅調に推移していることに加え、収益性の向上により、経常利益は前回公表値を上回る見込みであることを反映

ITS

- 金融・カード向け大型システム関連案件の減少に対し、金融等の新規領域開拓が想定を下回ったことに加え、不採算案件の収束に向けた追加費用を計上したことから、経常利益は前回公表値を下回る見込みであることを反映
- 昨今の長期金利上昇局面を受け、三菱総研DCS株式会社の退職給付にかかる数理計算上の差異(発生年度に全額費用処理)の影響を、今回予想に織り込み

1 2026年9月期第3四半期決算

2 2026年9月期業績予想

3 トピックス

4 Appendix

トピックス:17の戦略分野での取り組み

住宅ローン不正検知の共同化を開始(2026/7/1)

<https://www.mri.co.jp/news/press/20260701.html>

- 複数金融機関のデータを共同化し、住宅ローン不正の検知高度化を支援
- AIにより不正リスクの高い案件を特定する仕組みを構築
- 分析結果やリスク情報を提供し、金融機関の不正対策強化に貢献
- 将来的にリアルタイム不正検知サービスへの展開を予定

ー 不正検知共同化での実施内容 ー

- ① 不正動向の可視化と地域特性の分析提供
 - ー 不正発生の傾向を共有データで把握
- ② 案件ごとの不正リスクスコアの提示
 - ー 不正可能性のある取引の特定、自行の不正対策の見直し
- ③ 最新の不正手口・事例の共有
 - ー 新たな手口への対策実施の高度化
- ④ 不正利用に関する注意喚起情報の共有
 - ー 業界横断での未然防止



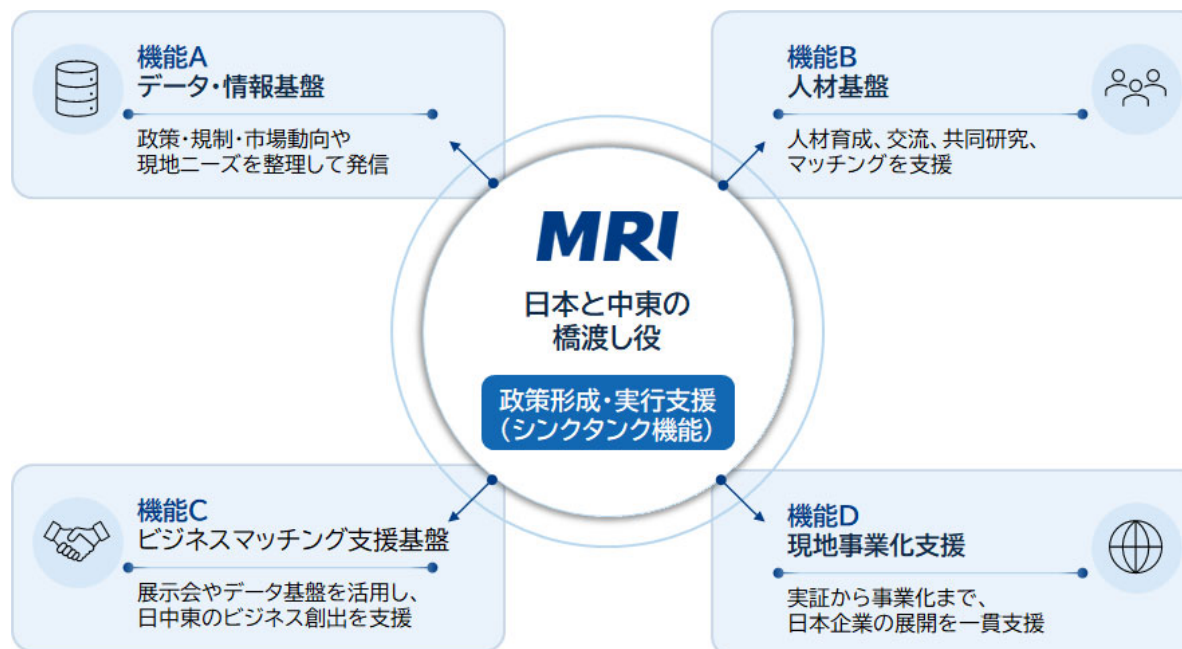
トピックス:17の戦略分野での取り組み

宇宙戦略基金「衛星データ利用システム実装加速化事業」に採択（2026/5/25）

<https://www.mri.co.jp/news/press/20260525.html>

- 宇宙航空研究開発機構の宇宙戦略基金事業に採択
- 中東(UAE・サウジアラビア等)における衛星データ活用・事業化を支援
- 日本・中東間の産官学連携基盤を構築し、国際連携を推進
- 日本企業の海外展開や衛星データ利用の社会実装を後押し

事業概要



トピックス:最近のリリース

日付	タイトル
【TTC】	
2026年7月28日	<u>特許庁「デザイン経営ハンドブック2」の制作に協力</u>
2026年7月27日	<u>静岡銀行で三菱総合研究所「審査AIサービス」の実務適用を開始</u>
2026年7月21日	<u>AIエージェントの活用でサプライチェーンの影響評価を開始</u>
2026年7月17日	<u>AIを活用した人材配置に関する調査研究を支援</u>
2026年7月8日	<u>PKUTECHと「AI Memory RAG」を共同開発</u>
2026年7月1日	<u>住宅ローン不正検知の共同化を開始</u>
2026年7月1日	<u>麒麟ホールディングスにAIインテリジェンス基盤の実務提供開始</u>
2026年6月29日	<u>日本企業のDX推進状況調査結果【2026年度版】を公表</u>
2026年6月24日	<u>デザインと知財を活用したスタートアップ成長事例集を制作</u>
2026年6月23日	<u>「令和7年度 広域自治体における資源循環システム構築の実証事業」を完了</u>

トピックス：最近のリリース

日付	タイトル
【TTC】	
2026年6月18日	<u>総務省の「自動運転の社会実装を支える通信インフラ実現のためのV2X通信システムに係る技術的検討事業」を受託</u>
2026年6月1日	<u>プラスチック容器包装の再生材利用拡大に向けた実証を開始</u>
2026年5月27日	<u>さいたま市の「次世代に向けた都市づくりのあり方検討等業務」を受託</u>
2026年5月26日	<u>「空飛ぶクルマに関する技術戦略文書」を公開</u>
2026年5月25日	<u>宇宙戦略基金「衛星データ利用システム実装加速化事業」に採択</u>
2026年5月21日	<u>【提言】日本の農業行政データ活用が目指すべき姿</u>
2026年5月18日	<u>AIエージェント活用による定量的な事業影響評価支援を開始</u>

トピックス:最近のリリース

日付	タイトル
【ITS】	
2026年5月26日	【DCS】バーチャレクス・ホールディングスと業務提携で顧客接点領域を強化
【関連会社】	
2026年6月17日	【JBS】データ×AI 統合型のガバナンスサービスを提供
2026年5月29日	【JBS】生成 AI 活用拡大に伴うデータセキュリティ課題に対応
2026年5月27日	【JBS】エンタープライズ向け Mac 導入・運用をワンストップで提供

1 2026年9月期第3四半期決算

2 2026年9月期業績予想

3 トピックス

4 Appendix

四半期別連結業績

Consolidated operating results by quarter

【百万円】【Million Yen】

	FY2024 1Q	FY2024 2Q	FY2024 3Q	FY2024 4Q	FY2024 Total	FY2025 1Q	FY2025 2Q	FY2025 3Q	FY2025 4Q	FY2025 Total	FY2026 1Q	FY2026 2Q	FY2026 3Q	FY2026 YTD
売上高 Net sales	27,668	38,865	23,720	25,108	115,362	27,706	37,731	26,185	29,834	121,458	30,899	41,672	25,661	98,232
販売費及び 一般管理費等 SG&A expenses	4,319	4,410	4,885	4,744	18,358	4,952	4,666	5,726	5,382	20,728	4,977	5,005	5,470	15,453
営業利益 Operating profit	2,037	6,564	(1,542)	1	7,060	1,480	5,339	(186)	1,377	8,010	3,455	5,838	(1,697)	7,596
営業利益率 Operating profit margin	7.4%	16.9%	—	0.0%	6.1%	5.3%	14.2%	—	4.6%	6.6%	11.2%	14.0%	—	7.7%
経常利益 Ordinary profit	2,437	6,904	(1,201)	7	8,147	1,938	5,702	613	1,479	9,734	3,857	6,236	(1,398)	8,695
経常利益率 Ordinary profit margin	8.8%	17.8%	—	0.0%	7.1%	7.0%	15.1%	2.3%	5.0%	8.0%	12.5%	15.0%	—	8.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 Profit attributable to owners of parent	1,178	5,033	(1,362)	153	5,003	991	3,889	105	1,398	6,386	2,634	5,835	(1,589)	6,880

四半期別セグメント別業績

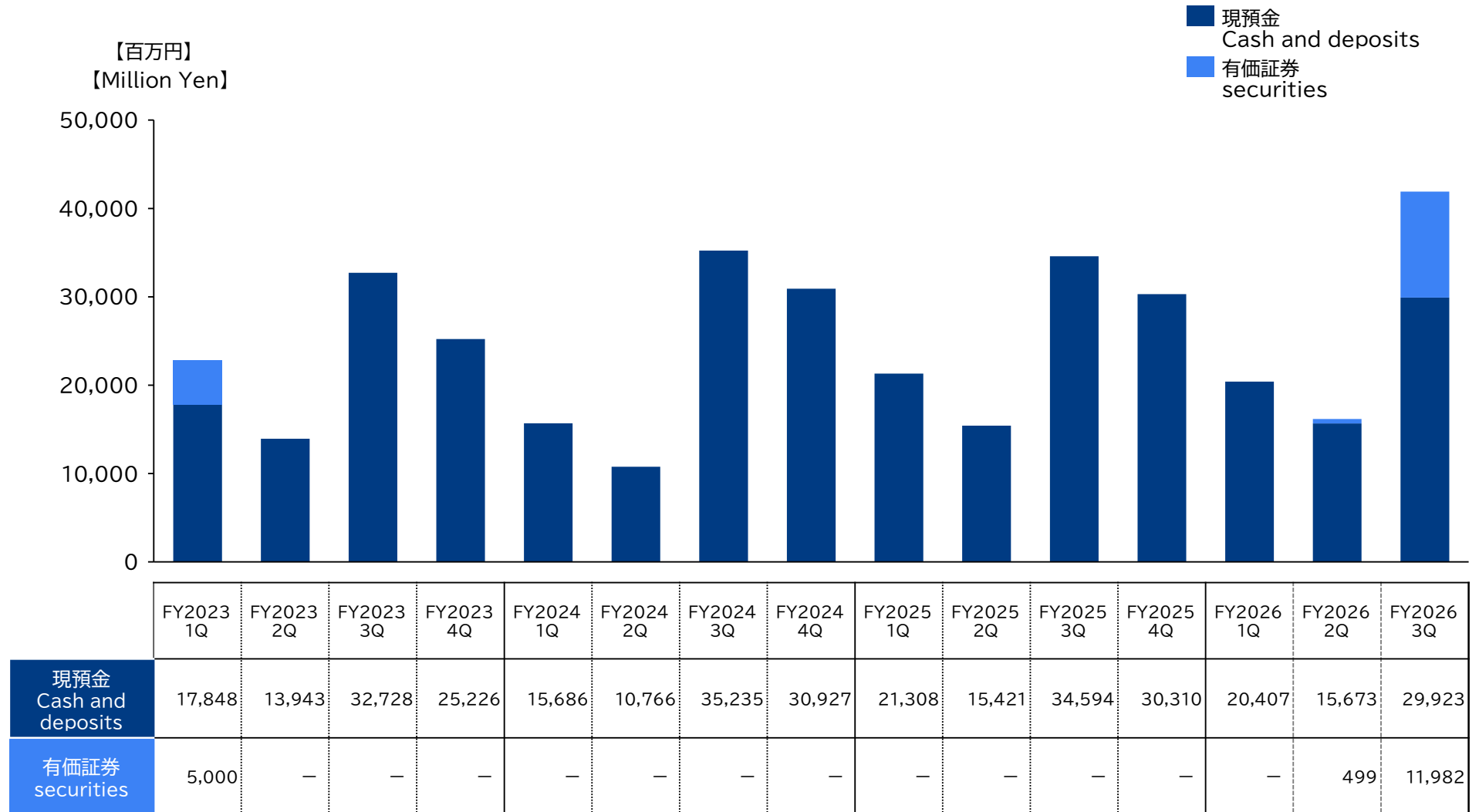
Segment operating results by quarter

【百万円】【Million Yen】

	FY2024 1Q	FY2024 2Q	FY2024 3Q	FY2024 4Q	FY2024 Total	FY2025 1Q	FY2025 2Q	FY2025 3Q	FY2025 4Q	FY2025 Total	FY2026 1Q	FY2026 2Q	FY2026 3Q	FY2026 YTD
TTC 売上高 Net sales	9,563	20,869	6,682	8,304	45,419	9,547	19,366	7,837	10,339	47,090	11,095	22,466	9,001	42,564
TTC 営業利益 Operating profit	703	4,956	(1,722)	(534)	3,402	716	4,278	(721)	71	4,344	1,976	5,798	(1,086)	6,688
TTC 営業利益率 Operating profit margin	7.4%	23.8%	—	—	7.5%	7.5%	22.1%	—	0.7%	9.2%	17.8%	25.8%	—	15.7%
TTC 経常利益 Ordinary profit	995	5,238	(1,482)	(513)	4,237	1,069	4,579	(79)	146	5,715	2,286	6,144	(902)	7,529
TTC 経常利益率 Ordinary profit margin	10.4%	25.1%	—	—	9.3%	11.2%	23.6%	—	1.4%	12.1%	20.6%	27.3%	—	17.7%
ITS 売上高 Net sales	18,105	17,996	17,038	16,803	69,942	18,159	18,364	18,348	19,495	74,367	19,803	19,205	16,659	55,668
ITS 営業利益 Operating profit	1,329	1,607	181	538	3,657	769	1,062	545	1,306	3,683	1,480	40	(610)	910
ITS 営業利益率 Operating profit margin	7.3%	8.9%	1.1%	3.2%	5.2%	4.2%	5.8%	3.0%	6.7%	5.0%	7.5%	0.2%	—	1.6%
ITS 経常利益 Ordinary profit	1,437	1,666	281	523	3,909	874	1,124	702	1,335	4,037	1,571	93	(496)	1,169
ITS 経常利益率 Ordinary profit margin	7.9%	9.3%	1.7%	3.1%	5.6%	4.8%	6.1%	3.8%	6.8%	5.4%	7.9%	0.5%	—	2.1%

四半期別現金保有高

Cash and deposits by quarter



将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

- 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所

経営企画部 IR室

E-mail : ir-info@ml.mri.co.jp

URL : www.mri.co.jp/

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所